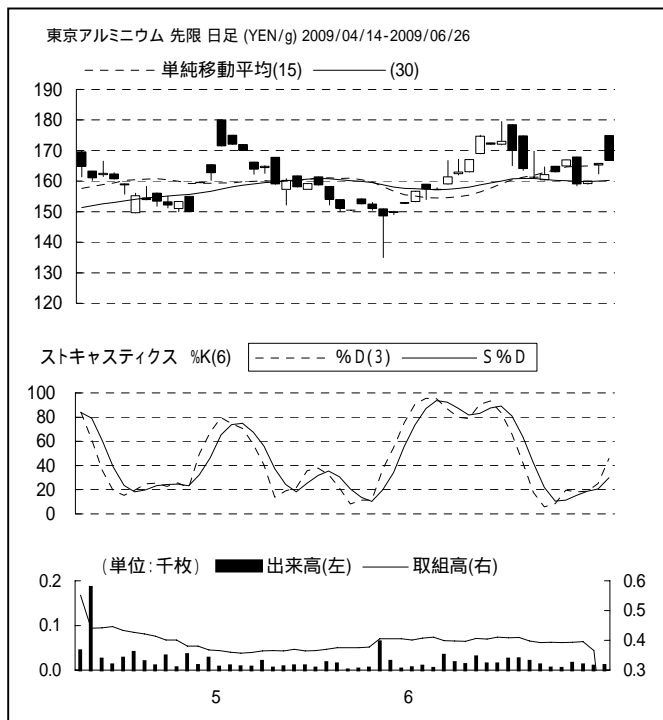


東京アルミニウム - 160円を中心に膠着



【予想レンジ】 160.0～175.0円
 【直近終値】 166.7円

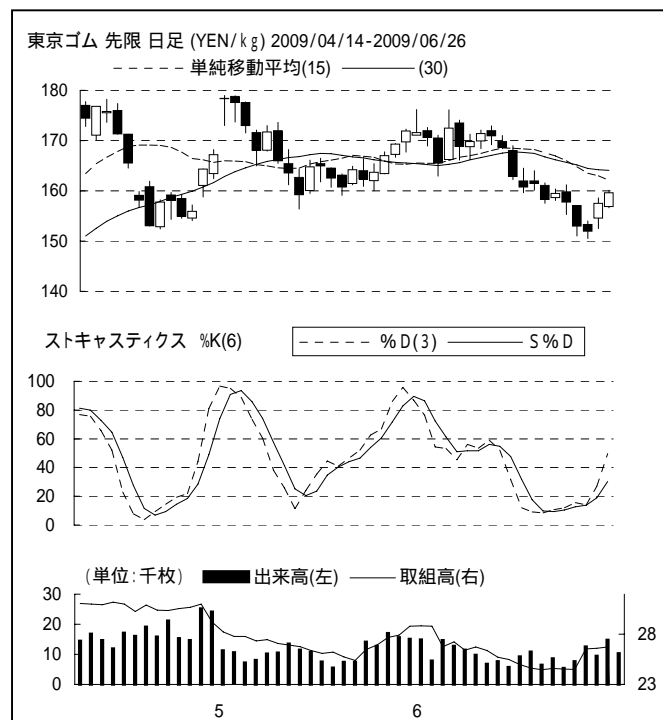
ストキャスティクス・移動平均線
 5月初めに180円をつけ反落した後、一旦平均線の160円へ押し調整へ。あらためて、ここからの反発上昇余地を探る。

出来高・取組
 170円の重さを確認すると急減。その後の急反発、高値更新と反落でも取組は概ね横ばい。6月からは次第に微増へ。

主要価格水準
 抵抗1...170.0 抵抗2...180.0
 支持1...160.0 支持2...155.0

【当面のスタンス】
 150円割れから急反発し、160円越えで再度、戻り歩調となったが180円からは反落。一旦押し調整となる。目先は再度160円の底堅さを確認した後、上向き方向を試す動きに。**(薄商いのため注意)**

東京ゴム - 150.5～165円で保合形成か



【予想レンジ】 151.0～165.0円
 【直近終値】 159.6円

ストキャスティクス・移動平均線
 移動平均線の170円割れをサポートとした保合から戻りを試すが割り込みで保合下放れとなる。戻り抵抗を確認へ。

出来高・取組
 180円の重さを確認すると取組は次第に減少。しかし160円割れでは値頃感が働くのか再度新規商いが活発化し増加へ。

主要価格水準
 抵抗1...161.0 抵抗2...165.0
 支持1...150.0 支持2...145.0

【当面のスタンス】
 170円を中心に保合っていたが、160円台での滞留時間も短く160円割れとなる。当初は玉整理が先行したが、次第に取組み増加。下値と見た買いも活発化し始めたようである。戻りを伺いつつ150.50～165円での保合圏での動きか。

[商品先物取引に係る留意点について]

2009年6月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

岡藤商事株式会社

・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2009年6月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高180,000円、最低14,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2009年6月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2009年6月1日現在、取引本証拠金の額の約8倍から約29倍の額にもなります（先限ベース）。

・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

お取引に関するご相談は

当社お客様相談窓口：東京都中央区新川2-12-16 TEL 03-3552-1203

日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町9番4号

TEL 03-3664-6243

当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部およびHPで閲覧できます。